

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	野生鳥獣感染症対策事業費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度	担当課室	鳥獣保護業務室	室長 中島慶二			
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高病原性鳥インフルエンザ等の野生鳥獣由来の感染症は、人畜への感染によって社会経済及びヒトの健康に著しい支障を及ぼすおそれがあるだけでなく、野生鳥獣間で蔓延した場合には、特に希少種の絶滅など我が国の生物多様性保全上大きな影響を及ぼす可能性がある。このため、パンデミックの未然防止に向けた危機管理として、本事業は、高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況に関するモニタリング、近隣諸国の情報収集、渡り鳥の飛来状況調査等により、安全・安心の確保に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記について以下の通り実施。 ①渡り鳥に送信機を装着し、人工衛星で追跡すること等により、飛来経路を解明(鳥インフルエンザ侵入ルートの予測) ②鳥インフルエンザウイルス等の病原体をわが国に持ち込む媒体となる可能性のある渡り鳥等のモニタリングを実施し、当該情報を関係省庁や都道府県と共有(糞便及び死亡野鳥調査による病原体の早期検出) ③近隣諸国の鳥インフルエンザに係る情報を収集(近隣発生国における状況の把握) ④全国の主な渡り鳥の飛来地において渡り鳥等の飛来状況(種、数等)の調査(月3回、概ね8箇月間)を行い、データをとりまとめ環境省のHPIにおいて提供(防鳥ネット設置時期の目安の提供)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	91	80	98	76	76
		補正予算	87	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	178	80	98	76	76
	執行額	188	160	115			
執行率(%)	106%	200%	117%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	鳥インフルエンザ等、野生鳥獣が感染・伝播する感染症について、国内侵入及び影響の監視、モニタリングを行うとともに、情報収集や知見の集約等を進めることで、国民の安全・安心の確保に寄与することが事業内容であり、あらかじめ定量的な成果目標を設定して行うことは困難である。	成果実績	-	-	-	-	-
	達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	鳥インフルエンザ等、野生鳥獣が感染・伝播する感染症について、国内侵入及び影響の監視、モニタリングを行うとともに、情報収集や知見の集約等を進めることで、国民の安全・安心の確保に寄与することが事業内容であり、定量的な活動指標を示すことは困難である。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	-	算出根拠		-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.4	0.45				
	環境保全調査費	76	7.55				
	計	76	76				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	高病原性鳥インフルエンザに関しては、野生鳥獣への影響のみならず、ヒトや家畜への影響も懸念されており、広く国民のニーズがある事業である。渡り鳥が伝播する可能性が高く、国レベルでの広域の対応が必要となる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。経費は、鳥インフルエンザウイルスの検出等のための検査・調査機材の購入費などの感染症対策を実施するために不可欠な用途に充てられている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	鳥インフルエンザウイルスの渡り鳥等におけるモニタリングは、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」を整備し、検査対象種の優先順位化（リスク種の設定）などを図り、効率的な調査・検査に努めている。鳥インフルエンザに関しては、国の事業としては、家きんでの対応は農林水産省で、ヒトでの対応は厚生労働省で実施しており、情報の共有、連携に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 右記参照	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	渡り鳥による高病原性鳥インフルエンザウイルスの国内侵入及びその影響を監視するとともに、情報収集や知見の集約を推進することで、生物多様性の保全、国民の安全・安心な生活の確保、鳥インフルエンザの防疫対策等の実施へ寄与するものであり、今後実施体制のさらなる効率化を図りつつ、モニタリング・検査及び各種調査を実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容を重点化又は効率化することにより、予算額を節減すべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	事業内容を見直すとともに、重点化を図った。		
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	193	平成23年行政事業レビュー	184

※平成23年度実績を記入

環境省
115百万円

業務の企画・指導監督

【請負：参加確認型公募】

→ A. 東京大学
34百万円
[渡り鳥の飛来経路の解明調査]

【請負：一般競争】

→ B. (独) 国立環境研究所
51百万円
[高病原性鳥インフルエンザ保有状況検査]

【請負：緊急随契、一般競争】

→ C. (財) 自然環境研究センター
16百万円
[野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況緊急調査、1件
野生鳥獣の感染症に係る情報収集及び対応方針等検討・調査
野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル改訂]

→ D~E. 地方環境事務所等
1.4百万円
[鳥フル発生に伴う地域における対策の強化]

【請負：一般競争】

→ F. (NPO) バードリサーチ
8百万円
[渡り鳥等の飛来状況収集・提供]

【請負：一般競争】

→ G. (社) バードライフ・インターナショナル・アジア・ディビジョン
5百万円
[極東地域の渡り鳥専門家による高病原性鳥インフルエンザワークショップ開催]

< 関東地方環境事務所 >

[物品購入：随意契約]

D. 東邦薬品(株)
0.3百万円

< 釧路自然環境事務所 >

[物品購入：随意契約]

E. 理科研(株)等 3件
1.1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.東京大学			F.(NPO)バードリサーチ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		34	人件費	現地調査、データ整理、html作成等	6.5
			印刷製本費	報告書作成	0.3
			通信運搬費		0.2
			一般管理費		1.2
計		34	計		8
B.(独)国立環境研究所			G.(社)バードライフ・インターナショナル・アジア・ディビジョン		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員等	15	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		5
消耗品費	検査資材等	25			
通信運搬費	輸送容器返送代	0.9			
備品費等	機器保守費、備品費等	1.1			
一般管理費		6.3			
消費税		2.4			
計		51	計		5
C.(財)自然環境研究センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員等	6.1			
旅費	ロシア現地調査	1.6			
諸謝金等	諸謝金、賃金、雑役務費等	0.7			
一般管理費		1			
消費税		0.5			
計		10	計		
D.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
E.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	渡り鳥の飛来経路の解明調査	34	参加確認型公募	-

支出先上位10者リスト

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況検査	51	1	81

支出先上位10者リスト

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	野生鳥獣の感染症に係る情報収集及び対応方針等検討・調査	10	1	99
2	(財)自然環境研究センター	野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル改訂	5	1	100
3	(財)自然環境研究センター	野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況緊急調査、1件	0.9	緊急随契	-

支出先上位10者リスト

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東邦薬品株式会社	鳥インフルエンザ対策必要資材の購入	0.3	随意契約	-

支出先上位10者リスト

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	理科研(株)つくば営業所	鳥類輸送用セーフティーボックス購入	0.9	随意契約	-
2	(株)カワバタ札幌営業所	ナイトビジョン購入	0.2	随意契約	-
3	シー・アイ・アール曾我(株)	リチウム電池 パナソニックCR-123AW/2P購入	0.003	随意契約	-

支出先上位10者リスト

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(NPO)バードリサーチ	渡り鳥等の飛来収集・提供	8	1	92

支出先上位10者リスト

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)バードライフ・インターナショナル・アジア・ディビジョン	極東地域の渡り鳥専門家による高病原性鳥インフルエンザワークショップ開催	5	1	98